



23年度14%増 進む低年齢化

識者 「親子で適切なルールを」

小学生7割 スマホ利用

大分合同新聞
2024年
4月24日(水)
朝刊 21面

県内の児童生徒とその保護者を対象にした県の2023年度の調査で、小学生の7割がスマートフォンを利用していることが明らかになった。インターネット利用やスマホ所持の低年齢化が進む一方、有害サイトなどの閲覧を制限するフィルタリング機能の活用は減っていた。識者は「子ども任せにせず、保護者も一緒にネットとの向き合い方を学ぶ姿勢が大切」と呼びかけている。



調査によると、スマホを使って小学生は70.4%（前年度比14%増）、中学生は76.9%（3.4%増）、高校生は97.1%（1.9%増）。小学生が大幅に伸びており、自分専用のスマホを持っている児童も前年度から9%増えて34.9%だった。

利用するサービスは小中高とも動画視聴が最も多かった。ソーシャルメディア（SNS）は小学生の約3割、中学生の約6割、高校生の約9割が使っていた。子どもと保護者で利用実態の認識に差があることも、調査結果から浮き彫りになった。

「平日に2時間以上ネットを使っている」と答えた小学生は36.5%、中学生50.8%、高校生67.4%。同じ質問に対する保護者の回答は小学生で13%、中学

生で15.1%低かった。保護者が把握しているよりも実際の時間が長いことがうかがえる。家庭でのルールに関する質問でも、「ルールがある」と答えた保護者が72.8%だったのに対し、子どもは57.3%にとどまった。決めていたルールは「利用時間が最も多かった。子どものネット利用が広がる半面、トラブルの未然防止につながるフィルタリングの活用は45.8%（前年度比1.4%減）と半数に届いていない。使っていたが解除した」との回答



野田 邦准 教授
NSでもVＳ
りとりし

は小学生で3.2%、中学生で5.4%、高校生で15.1%に達した。調査をした県は「子どもを信頼するのよいが、低年齢のうち適切なルールを設けて使い方を導くことが必要」と話している。ネットリテラシーに詳しい県立芸術文化短大情報コミュニケーション学科の野田 邦准教授（43）による

「保護者も子どもの使い方に関心を持ち、一緒にネットの利便性や危険を学びながら、互いに納得できるルールを作る姿勢が大切」とアドバイスしている。（安里葉冬）

〔問①〕 スマートフォンを利用している小学生は何%でしょうか。また、そのうち平日に2時間以上インターネットを使っていると答えた小学生は何%ですか。

スマートフォン利用…(**70.4**)%
平日2時以上インターネットを利用……(**36.5**)%

〔問②〕 有害サイトなどの閲覧を制限する機能の事を何と言いますか。

フィルタリング

〔問③〕 スマートフォンを使用するとき、どのようなルールが必要だと思いますか。話し合ってみよう。

自由記述